

自 2021年4月 1日
至 2022年3月 31日

2021年度 事業報告書

公益財団法人 情報通信学会

2021年度事業報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

概況

2021年度も前年度に引き続きコロナ禍の影響を大きく受け、学会大会、国際コミュニケーション・フォーラム、関西大会及び研究会等の学会行事についてオンラインにて開催した。春季国際コミュニケーション・フォーラムは、例年春季情報通信学会大会と同日開催をしていたが、当年度のデジタル庁開設に合わせ、秋に3日間にわたって開催した。また、秋季国際コミュニケーション・フォーラムは、フォーラム開催前後に関連するテーマでのセミナーの様子を動画で公開し、全体として連続性をもたせることでより深い議論を展開した。春秋ともに新たな試みであり、引き続きICTを活用した学会活動を活発に行っていく。また、学会の国際化の取り組みの一つである英文ブックシリーズ「Advances in Information and Communication Research」についても、第3巻及び第4巻を出版し、次年度以降も継続して出版予定である。

財政面に関しては、コロナ禍の影響もあり、予算通りといかない項目もあった。次年度も、このような状況が続くと予想され、引き続き経費等については見直していく。

I 学術大会、国際フォーラムの開催事業（公益目的事業1）

1. 2021年度春季（第44回）及び2021年度秋季（第45回）情報通信学会大会

2021年度春季（第44回）情報通信学会大会は、6月26日（土）、オンライン（Zoom Cloud Meetings を利用）にて開催した。個人研究発表として学生セッション（アーリーバード）発表及び一般セッション発表、研究会による研究会報告並びに総務省の特別報告が行われた。また、個人研究発表学生セッションにおいて優秀な1発表に対しアーリーバード発表賞を贈った。本大会は「情報通信月間」の参加行事である。参加者は146名。

2021年度秋季（第45回）情報通信学会大会を11月27日（土）、オンライン（Zoom Cloud Meetings を利用）にて開催した。個人研究発表として学生セッション（アーリーバード）発表及び一般セッション発表、研究会による研究会報告、春季（第44回）国際コミュニケーション・フォーラムの振り返りとしての特別セッション並びに総務省の特別報告が行われた。本大会においては、個人研究発表学生セッションにおいて優秀な発表に対して贈られるアーリーバード発表賞は該当者なしとなった。参加者は118名。

*プログラム等詳細は別紙1

2. 2021年度春季（第44回）国際コミュニケーション・フォーラム及び2021年度秋季（第45回）国際コミュニケーション・フォーラム

2021年度春季（第44回）国際コミュニケーション・フォーラムは、6月26日（土）開催予定であったが、2021年9月のデジタル庁の開設に合わせ、オンライン（Zoom ウェビナーを利用）にて9月27日（月）、29日（水）及び10月1日（金）の計3日間にわたり、公益財団法人KDDI財団との共催、公益財団法人電気通信普及財団の協賛で開催した。テーマは「『シン・デジタル政府』～人にやさしいハンコのデジタル化は可能か」とし、1日目は小林史明氏（衆議院議員／デジタル副大臣兼内閣府副大臣）に基調講演をいただき、その後久米雅雄氏（大阪芸術大学 客員教授）、橘大地氏（弁護士ドットコム株式会社取締役 クラウドサイン事業部長）をパネリストに迎えてパネル・ディスカッションが行われた。2日目は安宅和人氏（慶應義塾大学環境情報学部 教授／ヤフー株式会社 CSO）に基調講演をいただいた後、引き続き安宅和人氏（同上）、加えて高橋利枝氏（早稲田大学文学学術院 教授）をパネリ

ストに迎えてパネル・ディスカッションが行われた。3日目は、宮坂学氏（東京都 副知事）による基調メッセージ（ビデオメッセージ）の後、田中淳一氏（三重県 CDO（最高デジタル責任者）兼デジタル社会推進局 局長）、古谷由紀子氏（サステナビリティ消費者会議（代表） 消費生活アドバイザー）、山田晴香氏（わとな株式会社 代表取締役 CEO）、日下光氏（xID 株式会社 代表取締役 CEO）をパネリストに迎えてパネル・ディスカッションが行われた。

モデレーターは3日間ともに庄司昌彦氏（情報通信学会 理事／武蔵大学社会学部 教授）が務め、2日目と3日目には冒頭に三本松憲生氏（情報通信学会 理事／情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部 主任研究員）による前回の振り返りもあり、連続性をもたせたものとなった。また、各回終了後には音声 SNS「Clubhouse」を使用した懇親会も開催され、登壇者及び参加者にて同テーマについてカジュアルに議論が行われた。本フォーラムは「情報通信月間」の参加行事である。参加人数は1日目：85名、2日目：94名、3日目：65名。

2021年度秋季（第45回）国際コミュニケーション・フォーラムは、11月27日（土）、公益財団法人 KDDI 財団との共催、公益財団法人電気通信普及財団の協賛で、オンライン（Zoom ウェビナーを利用）にて開催した。タイトルを「デジタル変革時代の電波政策セミナー キックオフシンポジウム」とし、野崎雅稔氏（総務省総合通信基盤局 電波部長）、林秀弥氏（名古屋大学大学院法学研究科/同アジア共創教育研究機構 教授）に基調講演をいただいた。引き続き野崎雅稔氏、林秀弥氏に加え、パネリストとして飯塚留美氏（一般財団法人マルチメディア振興センター ICT リサーチ&コンサルティング部 シニア・リサーチディレクター）、高田潤一氏（東京工業大学副学長（国際連携担当）/環境・社会理工学院 教授）が加わり、パネル・ディスカッションが行われた。モデレーターは三友仁志氏（情報通信学会 会長／早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授）が務めた。参加人数は97名。

本フォーラムは、その開催前後に、関連するセミナーを動画にて公開することとした。フォーラム開催前の11月15日には、総務省の「デジタル変革時代の電波政策懇談会」の全体像とそのとりまとめを北俊一氏（株式会社野村総合研究所 パートナー）に講演いただいた様子を公開したほか、2022年3月10日総務省電波懇のメンバー（藤原洋氏（株式会社ブロードバンドタワー 代表取締役会長兼社長 CEO）、渡辺克也氏（一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 理事長）、三友仁志氏（情報通信学会会長／早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授）により「これからの日本に必要な電波活用～企業と地域の接点から～」をテーマに行われた鼎談を公開することとした。

*プログラム等詳細は別紙2

3. 2021年度関西大会

2021年度関西大会は、11月14日（日）にオンライン（Zoom ウェビナーを利用）にて開催した。「情報技術の進化が医療と福祉に与える可能性と今後の課題」をテーマとし、石見陽氏（メドピア株式会社 代表取締役社長CEO・医師）に基調講演をいただいた後、遠山仁啓氏（アマゾンウェブサービスジャパン株式会社 Senior Business Development Manager）、小川明子氏（名古屋大学大学院情報学研究科 准教授）のショートプレゼンテーションがあり、引き続き登壇者によるパネル・ディスカッションが行われた。モデレーターは北村順生氏（情報通信学会関西センター副委員長／立命館大学映像学部 教授）が務めた。参加人数は25名。

*プログラム等詳細は別紙3

II 研究会等実施、機関誌等刊行、研究顕彰事業（公益目的事業2）

1. 研究会・ワークショップの開催

以下の11の研究会が活動を予定していたが、コロナ禍の影響により、中止を余儀なくされた研究会もあり、年間計23回の研究会がオンライン及び感染症対策を行った上で開催された。また、ワークショップについても、コロナ禍の影響により実施しなかった。

<研究会>

- ① 情報社会研究会 （1回開催）
- ② 情報行動研究会 （1回開催）
- ③ モバイルコミュニケーション研究会 （3回開催）
- ④ 情報知財研究会 （0回開催）
- ⑤ 情報通信経済法学会研究会 （2回開催）
- ⑥ コンテンツビジネス研究会 （2回開催）
- ⑦ 災害情報と法と経済に関する研究会 （3回開催）
- ⑧ 地域5G研究会 （6回開催）
- ⑨ AIネットワーク法・政策研究会 （1回開催）
- ⑩ デジタル・エコシステム研究会 （1回開催）
- ⑪ 次世代ネット政策研究会 （2回開催）

<ワークショップ>

- ・情報通信ワークショップ（0回開催）

*研究会および情報通信ワークショップの詳細は別紙4

2. 情報通信学会誌及び英文ブックシリーズの発行

投稿論文、投稿論説、寄稿論文及び学会大会と国際コミュニケーション・フォーラムの講演録等を掲載した情報通信学会誌第39巻第1号～第4号（138号～141号）を発行した。なお、第1号・第2号（138号・139号）及び第3号・第4号（140号・141号）は合本による発行としているが、第3号・第4号の合本号については、2022年4月中旬の発送となった。電子媒体は、毎号をJ-STAGE (<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jsicr/-char/ja/>) において公開している。

発行部数は800部であり、会員に送付されるほか、42団体が定期購読を行っている。

また、英文ブックシリーズ「Advances in Information and Communication Research」については、2021年9月に第3巻「The Second Offline: Doubling of Time and Place」、2022年2月に第4巻「Policies and Challenges of the Broadband Ecosystem in Japan」が出版された。

*情報通信学会誌各号及び英文ブックシリーズの詳細は別紙5

3. 論文賞の授与

2020年度発行の学会誌に掲載された論文の中から厳正な選考が行われた。その結果2021年度春季（第44回）学会大会総会において、2020年度（第22回）情報通信学会論文賞が授与された。佳作2編。

*2020年度（第22回）情報通信学会論文賞の詳細は別紙6

Ⅲ 管理部門

2021年度は、常勤職員2名体制で学会事業活動を支えた。

収支においては、学会行事や会議等がオンラインにて開催されることが主となったことと、学会事業全般において経費節減に努めたが、賛助会員の減少により経常収益が大幅減となったことから、今後も更なる事業費の見直し、会員数の増強等に引き続き取り組み、適正かつ効率的な事業運営に努める。

1. 会員の増減

2021年4月1日現在の会員数は、正会員（個人）628名、正会員（団体）1団体、学生会員3名、特別会員80名、賛助会員38団体であった。2021年度内に正会員（個人）27名、学生会員2名の入会があったものの、正会員（個人）32名、学生会員1名の退会があり、正会員（個人）、学生会員および特別会員を合わせた個人会員数は4名減の707名となった。賛助会員は、3団体の退会があり、35団体、120口となった。引き続き個人会員及び賛助会員の増強に向けて、役員を中心に入会の働きかけを行う。

*会員の増減状況及び会員種別構成については附属明細書に記載する。

2. 収支状況

2021年度正味財産増減計算書の経常収益計は18,581,059円、経常費用計は18,781,311円となった。経常収益のうち受取会費は16,585,600円、事業収益は616,400円であった。経常費用においては事業費が13,736,255円、管理費が5,045,056円であった。正味財産の期末残高は前年度より858,452円減の89,239,298円となった。

3. 評議員会及び理事会の開催

2021年度は、評議員会を1回、理事会を6回、常任理事会を1回開催した。また、今後の学会運営について常任理事会及び理事会において検討が行われ、事業費の見直し、会員の増強への取り組みを含め、今後の学会の方針及び事業体制等が話し合われた。

*評議員会、理事会、常任理事会の詳細は別紙7

4. 委員会等の開催

研究・事業企画合同委員会、研究企画委員会、事業企画委員会、事業企画委員会、研究企画委員会、編集委員会、関西センター委員会がそれぞれ別紙のとおり開催された。また、委員の負担を軽くするため、一部委員会のメーリングリストや電話による検討、書面会議による議決を行った。

なお、合同開催となっていた研究・事業企画委員会について、第68回理事会（2021年9月21日開催）以後、個別に研究企画委員会と事業企画委員会を設置・開催することとした。

- ・研究・事業企画合同委員会（1回開催）
- ・研究企画委員会（4回開催）
- ・事業企画委員会（1回開催）
- ・編集委員会（5回開催）
- ・関西センター委員会（2回開催）

*委員会等の詳細は別紙8

事業報告の附属明細書

1. 会員の増減

【2021年度中の会員増減状況】

	正会員 (個人)	正会員(団体)		学生 会員	特別 会員	賛助会員		合計	
		団体数	口数			団体数	口数	個人	団体 (口数)
2021年4月1日 現在報告会員数	628	1	3	3	80	38	126	711	39 (129口)
年度内 増減	入会	27	0	0	2	0	0	29	0
	退会	△32	0	0	△1	0	△3	△6	△33 △3
	増減計	△5	0	0	1	0	△3	△6	△4 △3
2022年3月31日現 在報告会員数	623	1	3	4	80	35	120	707	36 (123口)

2. 評議員・理事・監事

2021年度は、2021年度定時評議員会（2021年6月11日開催）において任期満了に伴う一部評議員及び全理事の選任が行われた。

○2021年度定時評議員会までの評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである。

評 議 員

（任期：2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで）

	氏 名	所 属
評議員	井上 泰浩	広島市立大学 国際学部 教授
同	神野 新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員
同	児玉 俊介	一般社団法人電波産業会 専務理事 *任期は2021年1月20日から2021年6月定時評議員会の日まで
同	佐藤 靖夫	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長
同	菅谷 実	慶應義塾大学 名誉教授／白鷗大学経済学部 客員教授 *任期は2017年6月14日から2021年6月定時評議員会の日まで
同	辻 正次	大阪大学 名誉教授／神戸国際大学 学長・経済学部 教授
同	永野 浩介	一般財団法人マルチメディア振興センター 専務理事 *任期は2020年6月19日から2022年6月定時評議員会の日まで
同	廣松 毅	情報セキュリティ大学院大学 客員教授／日本学術振興会 人文・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター センター長
同	山下 東子	大東文化大学 経済学部 教授 *任期は2017年6月14日から2021年6月定時評議員会の日まで
同	山田 肇	東洋大学 名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長

（五十音順・敬称略）

理 事

(任期 2019年6月13日から2021年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
会 長	三友 仁志	早稲田大学 国際学術院大学院アジア太平洋研究科 教授
副会長	川崎 賢一	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	実積 寿也	中央大学 総合政策学部 教授
常務理事	内山 隆	青山学院大学 総合文化政策学部 教授
同	江寄 正邦	一般財団法人海外通信・放送コンサルティング協力 理事長
同	岡田 朋之	関西大学 総合情報学部 教授
同	林 秀弥	名古屋大学 大学院法学研究科/同アジア共創教育研究機構 教授
理 事	大里 智之	NHK放送文化研究所 所長
同	河又 貴洋	長崎県立大学 国際社会学部 准教授
同	木村 幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
同	三本松 憲生	株式会社情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部 主任 研究員
同	庄司 昌彦	武蔵大学 社会学部 教授
同	新保 史生	慶應義塾大学 総合政策学部 教授
同	高崎 晴夫	株式会社KDDI 総合研究所 フューチャーデザイン1部門 研究員
同	田中 絵麻	明治大学 国際日本学部 専任講師
同	西岡 洋子	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	福富 忠和	専修大学 文学部 教授
同	宮崎 久美子	立命館アジア太平洋大学 国際経営学部 教授/東京工業大学 名誉教授

(五十音順・敬称略)

監 事

(任期 2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
監 事	池川 博士	株式会社ドコモCS 元 常勤監査役
同	篠原 聡兵衛	KDDI株式会社 渉外・広報本部 渉外部マネージャー

(五十音順・敬称略)

○2021年度定時評議員会以降の評議員、理事及び監事の名簿は以下のとおりである。

評 議 員

(任期：2021年6月11日から2025年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
評議員	井上 泰浩	広島市立大学 国際学部 教授 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	神野 新	株式会社情報通信総合研究所 主席研究員 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	児玉 俊介	一般社団法人電波産業会 専務理事
同	佐藤 靖夫	日本電気株式会社 政策渉外部 担当部長 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	菅谷 実	慶應義塾大学 名誉教授／白鷗大学経済学部 客員教授
同	辻 正次	大阪大学 名誉教授／神戸国際大学 学長・経済学部 教授 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	永野 浩介	一般財団法人マルチメディア振興センター 専務理事 *任期は2020年6月19日から2022年6月定時評議員会の日まで
同	廣松 毅	情報セキュリティ大学院大学 客員教授／日本学術振興会 人文・社会科学データインフラストラクチャー構築推進センター センター長 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで
同	山下 東子	大東文化大学 経済学部 教授
同	山田 肇	東洋大学 名誉教授／特定非営利活動法人情報通信政策フォーラム 理事長 *任期は2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで

(五十音順・敬称略)

理 事

(任期 2021年6月11日から2023年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
会長	三友 仁志	早稲田大学国際学術院大学院アジア太平洋研究科 教授
副会長	江寄 正邦	一般財団法人海外通信・放送コンサルティング協力 顧問
同	川崎 賢一	駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部 教授
同	新保 史生	慶應義塾大学総合政策学部 教授
常務理事	内山 隆	青山学院大学総合文化政策学部 教授
同	岡田 朋之	関西大学総合情報学部 教授
同	穴倉 学	長崎大学経済学部 教授
同	実積 寿也	中央大学総合政策学部 教授
理事	飯塚 留美	一般財団法人マルチメディア振興センター ICT リサーチ&コンサルティング部 シニア・リサーチディレクター
同	大里 智之	NHK放送文化研究所 所長
同	河島 伸子	同志社大学経済学部/経済学研究科 教授
同	木村 幹夫	一般社団法人日本民間放送連盟 研究所長
同	三本松 憲生	株式会社情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部 主任研究員
同	庄司 昌彦	武蔵大学社会学部 教授
同	田中 絵麻	明治大学国際日本学部 専任講師
同	林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科/同アジア共創教育研究機構 教授
同	宮崎 久美子	立命館アジア太平洋大学国際経営学部 教授/放送大学 客員教授/ 東京工業大学 名誉教授
同	村上 陽亮	株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員 兼 KDDI research atelier フューチャーデザイン1 部門長

監 事

(任期 2019年6月13日から2023年6月定時評議員会の日まで)

	氏 名	所 属
監 事	池川 博士	株式会社ドコモCS 元 常勤監査役
同	篠原 聡兵衛	株式会社 KDDI 総合研究所 フューチャーデザイン1 部門 シニアアナリスト

(五十音順・敬称略)

*評議員、理事及び監事の所属先はいずれも2022年3月31日現在の役職を記載

2021 年度春季（第 44 回）情報通信学会大会

- 開催日程 2021 年 6 月 26 日（土）9：30～14：45
場所 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings を利用）
主催 公益財団法人情報通信学会
協賛 情報通信月間推進協議会 ＊情報通信月間参加行事

○プログラム

個人研究発表（アーリーバードの部、一般の部）、研究会報告、特別報告、総会

<個人研究発表>

学生の部（アーリーバード）

1. PHR における個人の自己情報利用に対する意識分析 宇留賀大誠（静岡大学大学院）
2. 都市 OS 実装に向けた検討と課題—高山市役所窓口における混雑状況可視化の実践—
大前裕輝（名古屋大学情報学部）、浦田真由（名古屋大学）、遠藤守（名古屋大学）、
安田孝美（名古屋大学）
3. フェイクニュース共有と訂正に影響する要因の検討 徐映京（早稲田大学大学院）
4. フェイクニュースの拡散要因の検討—拡散防止の観点から—
樋口颯也（東京大学大学院）、山口真一（国際大学 GLOCOM）、山口一（国立極地研究所）

一般の部

1. 経済学的視点から見た危機におけるプライバシー情報の活用—新型コロナパンデミックを契機として—
高崎晴夫（KDDI 総合研究所）
2. 個人のプライバシー意識等とデジタルサービス利用に関する実証分析
大磯一（慶應義塾大学）、依田高典（京都大学）、黒田敏史（東京経済大学）
3. 個人情報保護法における利用停止等請求権の法的性質 斉藤邦史（慶應義塾大学）
4. Twitter における意思表示および情報伝播について 大谷光一（武庫川女子大学）
5. Health literacy - a vaccine for the COVID-19 infodemic? 健康に関する情報リテラシーとコロナ
に関するインフォデミック
John William CHENG（津田塾大学）、Masaru NISHIKAWA（津田塾大学）
6. オープンソースにおける商標 八田真行（駿河台大学）
7. 感性表現・感情表現について—M.Gabriel「新しいメディア」に関連した考察—
森田英夫（DTK 企画）
8. 茶の湯文化におけるインターネット予約サイトを用いた茶事体験事業の可能性と課題についての考
察 松木孝和（特定非営利活動法人さぬき茶の湯文化潜思）、沼田秀穂（香川大学）
9. ライブ・エンターテインメント観光の「楽しさ」と課題—音楽イベントの遠征体験の分析から—
吉光正絵（長崎県立大学）
10. 新型コロナウイルス感染者の自宅・宿泊療養時における病状管理コミュニケーション・ツールとし
てのメディアの選好に関する研究
齋藤長行（東京国際工科専門職大学）、金広憲二（LINE 株式会社）、小原蓉童（LINE 株式会
社）、福島直央（LINE 株式会社）、砂金信一郎（LINE 株式会社）

11. 未成年のネットによる誘い出しリスクの分析～2018年度および2019年度の神奈川県高校生調査より～ 田代光輝（中央大学）
12. デジタルプラットフォーム企業のアルゴリズム濫用規制—EU デジタル市場法草案と中国アリババ社処罰決定— 王威駟（KDDI 総合研究所）
13. 英国通信法制の動向—特に、インフラ・インカンバントへの規制について— 岡野佳代（KDDI 総合研究所）、橘雄介（福岡工業大学）
14. ブロードバンドの全国カバレッジを目指す米国のユニバーサルサービス制度—包括的制度改革の成果と課題— 山條朋子（KDDI 総合研究所）
15. 韓国ブロードバンドの普及とユニバーサルサービス指定後の動向—ブロードバンドにおけるユニバーサル制度の問題— 神津実（KDDI 総合研究所）、キム・ダジョン（KDDI Korea Corporation）
16. イノベーションと著作権—米最高裁グーグル vs オラクル事件判決を題材として— 城所岩生（国際大学 GLOCOM）
17. ネット動画配信の参入による視聴環境変化が公共放送に与える影響—公共放送に対する私的便益の推計と影響要因の分析— 宍倉学（長崎大学）、春日教測（甲南大学）
18. これからのローカル局に求められる役割と可能性 鴨居真理子（香川大学大学院協力研究員）、沼田秀穂（香川大学）
19. ネットとの比較でのテレビの広告効果に関する研究—ブランド評価、購買プロセスへの寄与を中心とした分析— 木村幹夫（日本民間放送連盟）
20. 地方創生に向けた SDGs 促進における地方メディアの役割～壱岐の SDGs 未来都市・自治体 SDGs モデル事業に関する報道を事例に 賈曦（長崎県立大学）

<アーリーバード発表賞：1件>

1. PHR における個人の自己情報利用に対する意識分析 宇留賀大誠（静岡大学大学院）

<特別報告>

1. 統計からみた我が国の ICT の現状 報告者：井戸佳予子（総務省）

<研究会報告>

1. 情報行動研究会
報告：コロナ禍における人々の情報行動と意識—世界 29 カ国比較調査
報告者：大野志郎（駿河台大学）、天野美穂子（東京家政大学）、堀川裕介（早稲田大学）、篠田詩織（NTT セキュアプラットフォーム研究所）
討論者：松田美佐（中央大学） 司会者：橋元良明（東京女子大学）
2. 地域 5G 研究会
報告：5G 政策と社会—中国と韓国の 5G 市場の動向
報告者：趙章恩（KDDI 総合研究所）、華金玲（慶應義塾大学）
司会：菅谷実（慶應義塾大学）
3. コンテンツビジネス研究会
報告：コンテンツ企業におけるデジタルアーカイブ：事業活動の観点から
報告者：宮本聖二（立教大学/Yahoo! ニュースプロデューサー）、木戸崇之（朝日放送テレビ報道局人と防災未来センター）

司会：関根禎嘉（慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻博士課程）

4. モバイルコミュニケーション研究会

第一報告：方法としての触覚一手の実践として見直した「ケータイ小説」

報告者：金暲和（神田外語大学非常勤講師）

第二報告：セカンド・オフライン時代のオンライン空間：ゲームのフィールドを対象として

報告者：吉田達（東京経済大学非常勤講師）

司会：富田英典（関西大学教授）

2021 年度秋季（第 45 回）情報通信学会大会

開催日程 2021 年 11 月 27 日（土）9：30～14：40

場所 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings を利用）

主催 公益財団法人情報通信学会

○プログラム

個人研究発表（アーリーバードの部、一般の部）、研究会報告、特別報告、特別セッション

<個人研究発表>

学生の部（アーリーバード）

1. 日本の携帯電話産業における産業構造による発展と衰退 肥田親治（東洋大学大学院）
2. 若者はシェアするのか？—大学生の「満足した消費」から探る情報行動—
有馬愛実（法政大学学部生）、藤代裕之（法政大学）
3. ツイッターを用いた効果的な広報 —日本人宇宙飛行士を例として
井上能行（文教大学大学院）

一般の部

1. Z 世代と「共感」に関する探索的研究 —コミュニケーションにおける「指向」への着目—
中川晃（城西国際大学）
2. ビデオゲームはコロナ禍のメンタルヘルスにどのような影響を与えるか
江上弘幸（日本大学）、若林隆久（高崎経済大学）、山本剛資（政策研究大学院大学）
3. 米国におけるゲーム動画配信市場と視聴行動の分析—プラットフォーム間競争とクリエイター・エコノミーの視点から—
田中絵麻（明治大学）、五十嵐輝（マルチメディア振興センター） 小山友介（芝浦工業大学）
4. 動画配信サービスに対する視聴者の選好傾向—グローバル展開する海外製動画配信サービスの影響に注目して—
米谷南海（マルチメディア振興センター）
5. 基本メディアの感情表現の拡張に関する MMI を中心に考察—多層構造に着目して—
森田英夫（DTK 企画）
6. 東京 2020 大会 4K/IP はレガシーに 放送オペレーションのスリム化が焦点
廣谷徹（国際メディアサービスシステム研究所）
7. 新型コロナの流行下におけるオンライン会議システムの利用 石井健一（文教大学）
8. 米国・韓国における OTT ビデオ競争と通信事業者の戦略
山條朋子（KDDI 総合研究所）、三澤かおり（マルチメディア振興センター）
9. Service Innovation through Unbundling in the Airline Industry ~ the Strategies of ANA and

Icelandair 航空産業におけるアンバンドリングによるサービスイノベーション～ANA とアイスランド航空の戦略 宮崎久美子（立命館アジア太平洋大学）、Kjartan Jonsson（Solid Clouds）

10. Public Broadcasters Big Data applications development strategies: The Case of NHK and BBC
Santiago Ruiz Navas（立命館アジア太平洋大学）、宮崎久美子（立命館アジア太平洋大学）
11. 英国通信法制の組織的側面—組織の変遷からみた EU 離脱と最新動向—
橘雄介（福岡工業大学）、岡野佳代（KDDI 総合研究所）
12. デジタル・プラットフォームの優越的地位濫用規制—中韓の規制動向の比較から—
康佳慧（KDDI 総合研究所）、キム・ダジョン（KDDI 韓国）、神津実（KDDI 総合研究所）
13. 経済学の視点からみるサイバーセキュリティの諸課題について 高崎晴夫（KDDI 総合研究所）
14. デジタル時代の産官学連携によるイノベーション推進に関する一考察—日本と英国のイノベーション戦略文書の比較を中心に— 藍澤志津（マルチメディア振興センター）
15. Zero Price Rule の経済合理性について—韓国 Netflix 訴訟に関する経済分析—
実積寿也（中央大学）
16. 「Apple 税」の行方—カリフォルニア州 Epic Games 対 Apple 訴訟判決と日欧の AppStore 手数料規制—
王威駟（KDDI 総合研究所）
17. 混雑問題に対するピグー的解決法、コース的解決法～交通経済学と情報通信経済学の視点の違い～
湧口清隆（相模女子大学）

<特別報告>

1. 令和3年度版 情報通信白書の概要 報告者：小熊美紀（総務省）

<研究会報告>

1. 地域5G研究会
報告：ケーブルテレビ局のローカル5G活用—有線ネットワークと無線ネットワークの結合が生み出すイノベーション
報告者：日里友幸（ケーブルテレビ株式会社）、乾千乗（株式会社地域ワイヤレスジャパン）
司会：菅谷実（慶應義塾大学）
2. コンテンツビジネス研究会
報告：日本のコンテンツと Netflix
報告者：長谷川朋子（放送ジャーナリスト）、小泉真理子（京都精華大学）
モデレーター：大場吾郎（佛教大学）
3. 情報通信経済法学会
報告：我が国のトラストサービスの現状と方向性
報告者：高嶋幹夫（一般財団法人日本データ通信協会）
司会：林秀弥（名古屋大学）

<特別セッション>

1. シンのデジタル化にはどのような人材が必要か？～2021年春季（第44回）国際コミュニケーション・フォーラム『シン・デジタル政府』-人にやさしいハンコのデジタル化は可能か』の振り返り～
パネリスト：石塚清香（総務省地域情報化アドバイザー）
モデレーター：三本松憲生（情報通信総合研究所）

2021年度春季（第44回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程	2021年 9月 27日（月）18:00～20:00 2021年 9月 29日（水）18:00～20:00 2021年 10月 1日（金）18:00～20:00
場所	オンライン開催（プラットフォーム；Zoom ウェビナー）
テーマ	「『シン・デジタル政府』一人にやさしいハンコのデジタル化は可能か」
主催	公益財団法人情報通信学会
共催	公益財団法人 KDDI 財団
協賛 後援	情報通信月間推進協議会、公益財団法人電気通信普及財団 *情報通信月間参加行事 総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、 株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、 日本電気株式会社、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、 一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、 一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、 一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所

○プログラム

・1日目：2021年9月27日（月）

開会挨拶	三友仁志（情報通信学会 会長／早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授）
基調講演	「デジタル庁が実現する政府の DX」 小林史明（衆議院議員／デジタル副大臣兼内閣府副大臣）

パネル・ディスカッション/質疑応答

「人にやさしいハンコのデジタル化は可能か」

久米雅雄（大阪芸術大学 客員教授）

橘 大地（弁護士ドットコム株式会社 取締役 クラウドサイン事業部長）

庄司昌彦（情報通信学会 理事／武蔵大学社会学部 教授）

・2日目：2021年9月29日（水）

前回まとめ・主旨説明	三本松憲生（情報通信学会 理事／情報通信総合研究所 ICT リサーチ・コンサルティング部主任研究員）
------------	---

基調講演	「デジタルの力を最大化するデジタルガバメントのあり方」 安宅和人（慶應義塾大学環境情報学部 教授／ヤフー株式会社 CSO）
------	--

パネル・ディスカッション/質疑応答

「デジタルの力を最大化するデジタルガバメントのあり方」

安宅和人（慶應義塾大学環境情報学部 教授／ヤフー株式会社 CSO）

高橋利枝（早稲田大学文学学術院 教授）

庄司昌彦（情報通信学会 理事／武蔵大学社会学部 教授）

・3日目：2021年10月1日（金）18:00～20:00

前回まとめ・主旨説明 三本松憲生

基調講演メッセージ（ビデオメッセージ） 宮坂 学（東京都副知事）

パネル・ディスカッション/質疑応答

「人にやさしいデジタルガバメント」の実現方策」

田中淳一（三重県 CD0（最高デジタル責任者）兼デジタル社会推進局 局長）

古谷由紀子（サステナビリティ消費者会議（代表） 消費生活アドバイザー）

山田晴香（わとな株式会社代表取締役 CEO）

日下 光（xID 株式会社代表取締役 CEO）

庄司昌彦（情報通信学会 理事／武蔵大学社会学部 教授）

閉会挨拶 新保史生（情報通信学会 副会長／慶應義塾大学総合政策学部 教授）

<概 要>

20年ぶりに IT 基本法が改正され、デジタル社会形成基本法が成立した。「誰ひとり取り残さない、人にやさしいデジタル」実現に向けて、9月1日のデジタル庁発足など、デジタル改革は本格化する。この改革では技術的・法制度的課題だけではなく、調達制度などマネジメントの課題、データ活用に関する透明性・信頼性の課題など山積する課題を克服し、デジタル社会を牽引する政府（国・自治体）のデジタルトランスフォーメーションが求められている。本フォーラムでは、デジタル政府を担う政治・行政、民間企業、研究者、消費者・市民などさまざまな立場の方々にご参加いただき、「人にやさしい」「デジタルトランスフォーメーション」の実現方策や、「さらにその先」のデジタル政府に向けたビジョンと課題などを展望した。

2021年度秋季（第45回）国際コミュニケーション・フォーラム

開催日程 2021年11月27日（土）15:30～17:30

場所 オンライン開催（プラットフォーム：Zoom ウェビナー）

テーマ デジタル変革時代の電波政策セミナー キックオフシンポジウム

主催 公益財団法人情報通信学会

共催 公益財団法人 KDDI 財団

協賛 公益財団法人電気通信普及財団

後援 総務省、日本電信電話株式会社、東日本電信電話株式会社、西日本電信電話株式会社、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、富士通株式会社、日本電気株式会社、エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社、NHK、一般社団法人日本民間放送連盟、一般社団法人日本新聞協会、一般財団法人テレコムエンジニアリングセンター、一般社団法人電波産業会、一般財団法人マルチメディア振興センター、一般財団法人情報法制研究所

○プログラム

副会長挨拶 江寄正邦（一般財団法人海外通信・放送コンサルティング協力 顧問）

基調講演 1 「デジタル変革時代の電波政策について」

野崎雅稔（総務省総合通信基盤局電波部長）

基調講演 2 「これからの周波数割当て政策-競争性と公共性の追求に向けて-

林 秀弥 (名古屋大学大学院法学研究科/同アジア共創教育研究機構 教授)

パネル・ディスカッション

パネリスト : 野崎雅稔 (総務省総合通信基盤局電波部長)

飯塚留美 (一般財団法人マルチメディア振興センター)

ICT リサーチ&コンサルティング部 シニア・リサーチディレクター)

林 秀弥 (名古屋大学大学院法学研究科/同アジア共創教育研究機構 教授)

高田潤一 (東京工業大学副学長 (国際連携担当) /環境・社会理工学院 教授)

モデレーター : 三友仁志 (情報通信学会 会長/早稲田大学大学院アジア太平洋研究科 教授)

○学会 YouTube チャンネルにてプレ動画公開 :

本フォーラム開催にむけて、総務省「デジタル変革時代の電波政策懇談会」の全体像とそのとりまとめを、わかりやすく紹介。

ビデオ・インタビュー 北 俊一 (株式会社野村総合研究所パートナー)

<https://youtu.be/cKyZ8KWeLqI>

*2021年11月15日公開

<概要>

近年の電波利用の急激な拡大により、喫緊の課題となっている電波の有効活用を目指すために政策の実効性を高めることが求められています。公益財団法人情報通信学会では、電波利用の効率化および高度化を目指し、産官学の叡智を結集したうえで、学会としての中立的な立場から、議論を展開した。

2021年8月に取りまとめられた総務省『デジタル変革時代の電波政策懇談会 報告書』を起点に、今後の電波政策において何が必要なかを議論し、電波利用の高度化に向けた政策の具体化に資することを目的として、連続シリーズで公開セミナーを開催していく。

2021年度関西大会

開催日程 2021年11月14日(日) 13:30~16:30
場所 オンライン開催(プラットフォーム:Zoom ウェビナー)
テーマ 「情報技術の進化が医療と福祉に与える可能性と今後の課題」
主催 公益財団法人情報通信学会

○プログラム

開会挨拶 川崎賢一(情報通信学会 副会長/駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部教授)

基調講演 石見陽 (メドピア株式会社代表取締役社長CEO・医師)

ショートプレゼンテーション1

遠山仁啓(アマゾンウェブサービスジャパン株式会社 Senior Business Development Manager)

ショートプレゼンテーション2

小川明子(名古屋大学大学院情報学研究科 准教授)

パネル・ディスカッション

パネリスト : 石見陽、遠山仁啓、小川明子

モデレーター: 北村順生(関西センター委員会副委員長/立命館大学映像学部教授)

閉会挨拶: 岡田朋之(情報通信学会 常務理事・関西センター委員会委員長/関西大学教授)

<概要>

インターネットやモバイルコミュニケーションなどの情報技術は、近年、IoTやAI、AR、VR、ビッグデータなどとも融合しながら加速度的な展開をみせている。こうした新たなICTの発展は、社会のさまざまな分野・領域に大きな変革をもたらしつつあるが、今回は医療・福祉におけるに焦点をあてたい。医療分野におけるICTの活用は、COVID-19の発生により一気に進むこととなり、新たな医療・福祉の次元が訪れつつある。本大会では、こうした新たな医療・福祉の現状や今後の可能性について、具体的な事例を含めて明らかにしていく。同時に、その過程で生じているさまざまな課題やその社会的・文化的要因について検討していく。Society5.0における新たな医療・福祉のあり方について考えていった。

2021年度 研究会・情報通信ワークショップ開催状況

<研究会>

- ① **情報社会研究会** (主査: 中村 広幸 幹事: 井村 保・柴田 邦臣) 1回開催
・2021年12月11日(土) 9:00~12:30 豊洲街区・豊洲駅周辺
「豊洲・情報アクセシビリティ WS『豊洲探検隊』」
責任者: 中村広幸 (芝浦工業大学工学部教授)
- ② **情報行動研究会** (主査: 橋元良明 幹事: 松田美佐) 1回開催
・2021年6月26日(土) 13:30~14:45 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)
「コロナ禍における人々の情報行動と意識—世界29カ国比較調査」
報告者: 大野志郎 (駿河台大学)、天野美穂子 (東京家政大学)、堀川裕介 (早稲田大学)、
篠田詩織 (NTTセキュアプラットフォーム研究所)、討論者: 松田美佐 (中央大学)
司会者: 橋元良明 (東京女子大学)
- ③ **モバイルコミュニケーション研究会** (主査: 藤本憲一 幹事: 富田英典・岡田朋之) 3回開催
・2021年5月15日(土) 13:00~15:00 オンライン開催
(Zoom ウェビナー、YouTube Live 使用)
「ネット時代のフォークロア創造~リアルタイムCGを用いたAR表現を題材に」
報告者: タグチヒトシ (演出家)
司会: 伊藤耕太 (マーケティングディレクター、関西大学非常勤講師)
討論者: 藤本憲一 (武庫川女子大学教授)、杉本達應 (東京都立大学准教授)
・2021年6月26日(土) 13:30~14:45 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)
第1報告「方法としての触覚—手の実践として見直した「ケータイ小説」」
報告者: 金暲和 (神田外語大学非常勤講師)
第2報告「セカンド・オフライン時代のオンライン空間: ゲームのフィールドを対象として」
報告者: 吉田達 (東京経済大学非常勤講師) 司会者: 富田英典 (関西大学社会学部教授)
・2021年6月30日(水) オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用) ※非公開
第1報告「ワンホン網紅都市—ショートムービーが創出した都市のイメージ」
報告者: 劉 雪雁 (関西大学教授)
第2報告「ニュースレパートリーと社会格差」 報告者: 小笠原盛浩 (東洋大学教授)
司会者: 富田英典 (関西大学社会学部教授)
- ④ **情報知財研究会** (主査: 鈴木雄一 幹事: 玉井克哉) 0回開催
- ⑤ **情報通信経済法学研究会** (主査: 林秀弥 幹事: 福田雅樹) 2回開催
・2021年11月27日(土) 13:25~14:40 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)
「我が国のトラストサービスの現状と方向性」
報告者: 高嶋幹夫 (一般財団法人日本データ通信協会専務理事) 司会: 林秀弥 (名古屋大学)
・2022年2月1日(火) 14:00~16:30 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)
「AI時代における労働法上の課題」
報告者: 岡村優希 (株式会社情報通信総合研究所 法制度研究部主任研究員)
討論者: 板倉陽一郎 (弁護士)
司会者: 林秀弥 (名古屋大学大学院法学研究科教授 (兼) 同アジア共創教育研究機構教授)
- ⑥ **コンテンツビジネス研究会** (主査: 大場吾郎 幹事: 田村和人、浅利光昭) 2回開催

- ・2021年6月26日(土) 13:30~14:45 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)
「コンテンツ企業におけるデジタルアーカイブ：事業活動の観点から」
報告者：宮本聖二 (立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授/Yahoo!ニュースプロデューサー) 木戸崇之 (朝日放送テレビ報道局 人と防災未来センターリサーチフェロー)
司会：関根禎嘉 (慶應義塾大学大学院文学研究科図書館・情報学専攻博士課程)

- ・2021年11月27日(土) 13:25~14:40 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)
「日本のコンテンツと Netflix」
報告者：長谷川朋子 (放送ジャーナリスト)、小泉真理子 (京都精華大学)
モデレーター：大場吾郎 (佛教大学)

⑦ 災害情報と法と経済に関する研究会 (主査：林秀弥 幹事：井上禎男、西澤雅道) 3回開催

- ・2021年8月21日(土) 13:00~15:30 オンライン開催 (YouTube によるライブ配信等)
「コロナ時代の避難の在り方 —静岡県熱海市の土石流災害等を踏まえて—」
登壇者：室崎益輝 (兵庫県立大学教授)、矢守克也 (京都大学教授)、加藤孝明 (東京大学教授)、鈴木猛康 (山梨大学教授)、田中隆文 (名古屋大学准教授)、磯打千雅子 (香川大学准教授)、西澤雅道(前福岡大学准教授/内閣官房)

- ・2021年12月18日(土) 13:00~15:30 オンライン開催 (YouTube によるライブ配信等)
「アフター・コロナとコミュニティ防災」
登壇者：室崎益輝 (兵庫県立大学教授)、矢守克也 (京都大学教授)、加藤孝明 (東京大学教授)、神原咲子 (高知県立大学特任教授)、磯打千雅子 (香川大学准教授)、坊農豊彦 (大阪市立大学特別研究員)、金思穎 (専修大学研究員)

- ・2022年3月5日(土) 9:30~17:30 オンライン開催 (YouTube によるライブ配信等)
「多様化・激甚化する災害とコミュニティ防災」
登壇者：室崎益輝 (兵庫県立大学教授)、加藤孝明 (東京大学教授)、鈴木猛康 (山梨大学教授)、磯打千雅子 (香川大学准教授)、浅野幸子 (早稲田大学研究員)、阪本真由美 (兵庫県立大学教授)、田中耕司 (大阪工業大学教授)、西田佳弘 (大阪市立大学特別研究員)、酒井明子 (福井大学教授)、澤田雅浩 (兵庫県立大学准教授)、石塚裕子 (大阪大学講師)
総合司会：矢守克也 (京都大学教授)、西澤雅道(前福岡大学准教授/内閣官房)、坊農豊彦 (大阪市立大学特別研究員)、金思穎 (専修大学研究員)

⑧ 地域5G研究会 (主査：菅谷実 幹事：山田徳彦、米谷南海) 6回開催

- ・2021年6月26日(土) 13:30~14:45 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)
「5G政策と社会—中国と韓国の5G市場の動向」
報告者：趙章恩 (KDDI 総合研究所) 華金玲 (慶應義塾大学) 司会：菅谷実 (慶應義塾大学)

- ・2021年8月12日(木) 「電波政策の基本的考え方」 報告者：湧口清隆

- ・2021年10月13日(水) 「組織のカタチと情報通信」 報告者：山田徳彦

- ・2021年11月13日(土) 「次世代型映像地域メディアの可能性」 報告者：脇浜紀子

- ・2021年11月27日(土) 13:25~14:40 オンライン開催 (Zoom Cloud Meetings 使用)
「ケーブルテレビ局のローカル5G活用—有線ネットワークと無線ネットワークの結合が生み出すイノベーション」

報告者：日里友幸 (ケーブルテレビ株式会社技術課長)、乾千乗 (株式会社地域ワイヤレスジャパン ソリューション推進部マネージャー) 司会：菅谷実 (慶應義塾大学)

- ・2021年12月11日(土) 「森羅万象に広がるスマートシティ構想の期待と課題」 報告者：神野新、「日中韓の5G利用動向のアンケート調査：中間報告」 報告者：米谷南海

⑨ **AI ネットワーク法・政策研究会**（主査：福田雅樹 幹事：成原慧） 1 回開催

・2022年3月30日（水）13：00～17：00 オンライン開催

「メタバースの世界観と倫理的・法的・社会的課題」

主催：理化学研究所革新知能統合研究センター人工知能倫理・社会チーム、大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門、情報通信学会AIネットワーク法・政策研究会

開会の辞・問題提起：福田雅樹（本研究会主査）

基調講演「Beyond 5G 時代に向けたメタバースに関する KDDI の取組」：

小西聡（株式会社 KDDI 総合研究所取締役執行役員副所長先端技術研究所長（兼）KDDI 株式会社技術統括本部技術戦略本部副本部長）

講演「メタバースのオープン・ガバナンス：参加者の創造性が発揮されやすい制度と

その課題」：渡辺智暁（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター教授・研究部長・主幹研究員）

講演「メタバースの何が法的問題か（あるいは問題でないか）」：赤坂亮太（大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門准教授）

全体討論（パネルディスカッション）：鈴木晶子（理化学研究所革新知能統合研究センター人工知能倫理・社会チームリーダー、京都大学大学院教育学研究科教授）、小西聡（前掲）、渡辺智暁（前掲）、赤坂亮太（前掲）、倉田哲郎（大阪大学社会技術共創研究センター総合研究部門招へい教授、前箕面市長）、成原慧（本研究会幹事）

全体総括・閉会の辞：鈴木晶子（前掲）

⑩ **デジタル・エコシステム研究会**（主査：岡田朋之、幹事：長谷川想、北村順生） 1 回開催

・2021年9月2日（木）13：00～14：30 オンライン開催（Zoom Cloud Meetings 使用）

「コンテンツツーリズムからメタ観光へ——ソーシャルメディア時代の観光を考える」

講演者：菊地映輝（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター 研究員/講師）

⑪ **次世代ネット政策研究会**（主査：庄司昌彦、幹事：高口鉄平） 2 回開催

・2021年7月3日（土）13:00～17:00

オンラインワークショップ（Zoom Cloud Meetings 使用）

「シビックパワーバトル」

参加ゼミ：関東学院大学人間共生学部 折田明子ゼミ、静岡大学情報学部 高口鉄平ゼミ、中央大学総合政策学部 実積寿也ゼミ、武蔵大学社会学部 庄司昌彦ゼミ、明治大学国際日本学部 田中絵麻ゼミ、総務省若手職員（ゲスト参加）

・2021年12月11日（土）13:00～17:00

オンラインワークショップ（Zoom Cloud Meetings 使用）

参加ゼミ：関東学院大学人間共生学部 折田明子ゼミ、静岡大学情報学部 高口鉄平ゼミ、中央大学総合政策学部 実積寿也ゼミ、武蔵大学社会学部 庄司昌彦ゼミ、明治大学国際日本学部 田中絵麻ゼミ、名古屋大学 林秀弥ゼミ

※情報知財研究会及び情報通信ワークショップについては新型コロナウイルス感染拡大の影響で2021年度は開催しなかった。

情報通信学会誌 (第39巻第1号～第39巻第4号)

情報通信学会誌第39巻第1号 通算第138号 (第2号と合本)

掲載論文

- ・「バーチャルYouTuberの肖像権 —CGアバターの「肖像」に対する権利—」 (原田伸一朗)

掲載寄稿論文

- ・「近年の日本における偽情報 (フェイクニュース) 対策と実務上の論点」 (西田亮介)

情報通信学会誌第39巻第2号 通算第139号

特集 2021年度春季 (第44回) 情報通信学会大会

掲載論文

- ・「個人情報保護利活用仲介機構の構想—保護と利活用をともに実現するための提案—」 (田中辰雄)
- ・「未成年者のSNSでのネットリスク低減策に対する社会負担可能性の実証分析—AIを活用した「誘い出し防止アプリ」への寄付意思額—」 (田中大智、高口鉄平、実積寿也)
- ・「東アジアにおける高度人材の国際労働移動の誘因分析—1980年度から2000年代の韓国人IT人材の日本への移動を中心に—」 (松下奈美子)
- ・「地方自治体のオープンデータ施策の実態と取り組み内容に影響を与える要因に関する研究」 (野村敦子、川島宏一、有田智一)

掲載論説

- ・「プレイステーション5の転売者プロフィール」 (上田祥二、松井亮治、針尾大嗣)

掲載寄稿論文

- ・「ローカル5Gの海外最新動向」 (飯塚留美)

研究会報告

- ・モバイル・コミュニケーション研究会
「ネット時代のフォーククロア創造～リアルタイムCGを用いたAR表現を題材に」
- ・地域5G研究会
「5G政策と社会—中国と韓国の5G市場の動向」

情報通信学会誌第39巻第3号 通算第140号 (第4号と合本)

特集 2021年度春季 (第44回) 国際コミュニケーション・フォーラム

掲載論文

- ・「国際海底ケーブル・コンソーシアムの変遷—なぜ、海底ケーブル・オーナーはコンソーシアムを組もうとするのか—」 (戸所弘光)
- ・「個人のプライバシー意識等とデジタルサービス利用に関する実証分析」 (大磯一、依田高典、黒田敏史)

掲載寄稿論文

- ・「アプリに関するサービスと市場画定」 (井畑陽平)

情報通信学会誌第39巻第4号 通算第141号

特集1 2021年度秋季（第45回）情報通信学会大会／国際コミュニケーション・フォーラム

特集2 2021年度関西大会

掲載論文

- ・「Lotka-Volterraモデルを用いたデータセンタ間接続ネットワークにおける競争分析」
（河合伸悟、当麻哲哉）

掲載論説

- ・「ツイッターを用いた効果的なアウトリーチ活動 野口聡一宇宙飛行士を例として」（井上能行）
- ・「米国通信品位法230条の動向とプロバイダ責任の在り方への示唆—第116議会及びEARN IT法案の分析を中心に—」（橘雄介）

掲載寄稿論文

- ・「新たな改革に踏み出す米国のユニバーサルサービス制度—ブロードバンドの全米カバレッジ実現に向けて—」（山條朋子）

研究会報告

- ・コンテンツビジネス研究会 「日本のコンテンツとNetflix」
- ・地域5G研究会 「ケーブルテレビ局のローカル5G活用—有線ネットワークと無線ネットワークの結合が生み出すイノベーション」

英文ブックシリーズ「Advances in Information and Communication Research」

第3巻

Book Title: The Second Offline: Doubling of Time and Place

Editors: Hidenori Tomita (Ed.)

Publisher: Springer

Publication Date: September 2021

About this book:

This book presents current research on mobile Internet society. Past research was not able to show a clear analytical framework, thus was unable to close in on the fundamental changes in that society. This book, however, analyzes mobile Internet society by introducing the concept of “doubling of time and place” and the analytical framework of the “second offline.” The emergence of the smartphone has made Internet use easier, and now, people are constantly using online information in the midst of their daily lives. Our society is transitioning from the first offline society, a society without being connected to Internet, to the second offline society, where users are connected to the Internet at all times. In this second offline society, our sense of time and place are beginning to change. Broadcast and communication media have made possible the overlapping of different places, which has been called the doubling of place. Furthermore, virtual reality (VR) and augmented reality (AR) technologies have enabled the overlap of different times, which this book calls the doubling of time. The smartphone makes both possible. With the second offline and the doubling of time and place as keywords, the book takes into consideration research that includes, among other topics, the media usage of young adults, selfies, education, social media usage, mobile games, workstations, and consumer activity in the mobile Internet

society.

TABLE OF CONTENTS

Introduction: Are You Second Offline ?

The Doubling of Time and Place

Hidenori Tomita

Mobile Communication Technology and the Lifeworld: Examining the Implications of the Second Offline
Concept from a Phenomenological James E. Katz

Society Transformed through Mobile Media

Merged Reality: A Second “Second Offline”

Michael Björn

Application of XR to Regional Development

Yuichi Kogure

Media Mobilization and the Bricolage of Time and Place

Kota Ito

The Potential of the Participatory Design of Mobile Media in Post-mobile Society

Tomoyuki Okada

Workation and the Doubling of Time and Place

Keita Matsushita

Mobile Media As a Cultural Milieu

Ambient Play: Understanding Mobile Games in Everyday Life

Larissa Hjorth, Ingrid Richardson

Re-Genesis of ‘Now’ by Parasites’ Interruptions/Advents: Mobile Media Solipsist and the Re-Enchanted
‘Possible Worlds’

Kenichi Fujimoto

The Importance of Place in the Second Offline Life: Geographical Differences in Social Media Usage and
Online Gaming Behavior

Misa Matsuda

Media Literacy and Emerging Media in Education

Eriko Uematsu

The Bodily Mode of the Selfie

Kyoung-hwa Yonnie Kim

Social Media and Mobile Society

Spatial Practices of the Second Offline

Jason Farman

Carrying Relationships: Cities, Social Networks, and Mobile Media

Kunikazu Amagasa

Social Media Usage and Translocality Among Japanese Young Adults

Ichiyo Habuchi

第4卷

Book Title: Policies and Challenges of the Broadband Ecosystem in Japan

Editors: Toshiya Jitsuzumi, Hitoshi Mitomo (Ed.)

Publisher: Springer

Publication Date: February 2022

About this book:

This book shows how telecom, broadcast, and Internet researchers as well as experts from Japan's leading mobile operators interpret, analyze, and evaluate the emerging phenomenon of the Japanese broadband ecosystem. The broadband ecosystem, as it rapidly changes against the backdrop of swift technological progress, is forcing major changes in the existing socioeconomic framework and generating many policy issues that require discussion.

The book aims to provide a theoretical and practical framework for policymakers to address these issues from a broader perspective than has been available in the past. The topics addressed in this book cover sharing of 5G infrastructure, online platform regulation, diffusion of autonomous driving, content industry, trends and use cases of 5G, capacity development for AI, ride-hailing service, smartphone games, the right to be forgotten, and the economic value of personal information.

Although this book cannot provide definitive answers to all these recently emerging and rapidly changing issues, it does provide important guidance for evidence-based discussion involving policymakers and researchers working on these issues. It is also recommended for graduate students who want to enter this challenging field of policy discussion.

TABLE OF CONTENTS

Development of Infrastructure Sharing in the Mobile Market

Tomoko Yamajo

Issues in Regulating Online Platforms

Toshiya Jitsuzumi

Interdependency on the Data Platform and Its Effect on the Diffusion of Autonomous Driving

Hitoshi Mitomo

Audio-Visual Content Industry in Japan

Takashi Uchiyama

Trends and Use Cases of 5G

Issei Kanno

Measures to Develop Human Resources with AI Skills in Japan: Society 5.0 and Investment in the Next Generation

Ema Tanaka, Shizu Aizawa

New Competition in Regulated Service Markets After the Smartphone Diffusion: Regulations on Ride-Hailing Services in Japan

Akihiro Nakamura

The Preference of Payment of Game Players in the Cross-Platform Era: A Survey of Smartphone Users in Japan, the UK, China

Ema Tanaka, Yuhsuke Koyama, Nobushige Kobayashi

Acceptability of the “Right to be Forgotten” in Japan

Teppei Koguchi, Kenji Kanda

The Economic Value of Personal Information: Analysis of Information Leakage Incidents

Teppei Koguchi, Shogo Maeda

2020 年度（第 22 回）情報通信学会論文賞

佳作 2 論文

第 38 卷 1 号（134 号）掲載論文（2020 年 6 月発行）

「子どもの個人情報の処理にかかる「同意」のあり方」

松前恵環（駒澤大学）

受賞理由：子供からの個人情報の取得にあたって本人同意を取得する必要性について、その重要性が認識されている。同意の取得のあり方について諸外国の動向を調査し現状を丹念に整理し、現時点における問題点を明らかにした論文として秀逸な論文である。

第 38 卷 3 号（136 号）掲載論文（2020 年 12 月発行）

「違法ダウンロードに対する量刑判断——「万引き」との比較から——」

松木祐馬（早稲田大学大学院）西川開（筑波大学大学院）向井智哉（東京大学大学院）

受賞理由：近年、法律・経済・社会等あらゆる分野から関心を集めている「違法ダウンロード」について、一般市民が評価する量刑判断が「万引き」とどのように異なるか、高度な実証分析で明らかにしています。独創的で有意義な研究成果というだけでなく、未だ実証研究が少ない国内の「法と経済学」分野の発展に寄与する論文と考え、佳作に該当する論文と評価しました。

評議員会及び理事会の開催

<評議員会>

第29回評議員会

日 時：2021年6月11日（金）9：00～10：15

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本評議員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：（評議員）井上泰浩、神野新、児玉俊介、佐藤靖夫、菅谷実、辻正次、永野浩介、
廣松毅、山下東子、山田肇（理事）三友仁志、江寄正邦（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 2020年度事業報告について
2. 2020年度決算報告について
3. 2021年度事業計画及び2021年度収支予算について
4. 任期満了に伴う一部評議員の選任
5. 任期満了に伴う理事の選任

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

<理事会>

第65回理事会

日 時：2021年5月27日（木）10：00～11：30

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：（理事）三友仁志、川崎賢一、実積寿也、内山隆、江寄正邦、岡田朋之、河又貴洋、
三本松憲生、庄司昌彦、新保史生、高崎晴夫、田中絵麻、宮崎久美子
（監事）池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 2020年度事業報告について
2. 2020年度決算報告について
3. 2021年度定時評議員会の招集
4. 選挙によらない次期理事候補者の推薦
5. 2020年度（第22回）情報通信学会論文賞について
6. 2021年度春季情報通信学会大会及び国際コミュニケーション・フォーラムについて
7. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

第 66 回理事会

日 時：2021 年 6 月 24 日（木）16：30～17：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 三友仁志、飯塚留美、内山隆、江寄正邦、大里智之、岡田朋之、川崎賢一、
河島伸子、木村幹夫、三本松憲生、宍倉学、田中絵麻、宮崎久美子、村上陽亮
(監事) 池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 会長（代表理事）の選定について
2. 副会長・常務理事の選定について
3. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

第 67 回理事会

日 時：2021 年 7 月 19 日（月）9：30～10：11

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 三友仁志、江寄正邦、川崎賢一、新保史生、内山隆、岡田朋之、宍倉学、
実積寿也、飯塚留美、大里智之、河島伸子、庄司昌彦、宮崎久美子、村上陽亮
(監事) 篠原聡兵衛

議 案：

1. 副会長・常務理事の選定について
2. 委員会委員の選任について
3. 総務プロジェクトの設置について
4. 資金運用執行責任者任命の承認について
5. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

第 68 回理事会

日 時：2021 年 9 月 21 日（火）9：30～11：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 三友仁志、江寄正邦、川崎賢一、新保史生、内山隆、岡田朋之、宍倉学、
実積寿也、飯塚留美、三本松憲生、林秀弥、宮崎久美子、村上陽亮
(監事) 池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 委員会委員の選任について
2. 2021 年度秋季国際コミュニケーション・フォーラムについて
3. 正会員表彰受賞者について
4. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

第 69 回理事会

日 時：2021 年 12 月 20 日（月）10：00～11：29

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 三友仁志、江寄正邦、川崎賢一、新保史生、内山隆、宍倉学、実積寿也、
飯塚留美、河島伸子、三本松憲生、林秀弥、宮崎久美子、村上陽亮
(監事) 篠原聡兵衛

議 案：

1. 入会承認及び退会報告

検討事項：

1. 2022 年度事業計画と予算について

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

その他

1. 内閣府公益認定等委員会による立入検査について
2. 来年度の事務局体制について

第 70 回理事会

日 時：2022 年 3 月 18 日（金）14：00～15：20

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：(理事) 三友仁志、江寄正邦、川崎賢一、新保史生、岡田朋之、宍倉学、実積寿也、
飯塚留美、河島伸子、庄司昌彦、田中絵麻、林秀弥、宮崎久美子、村上陽亮
(監事) 池川博士、篠原聡兵衛

議 案：

1. 2022 年度事業計画について
2. 2022 年度収支予算について
3. 委員会委員の変更について
4. 職員の特別手当の支給について
5. 入会承認及び退会報告

報告事項：

1. 業務執行状況の報告

その他

1. 来年度の事務局体制について
2. 学会のリーフレットについて

<常任理事会>

第 23 回常任理事会

日 時：2021 年 12 月 13 日（月）10：00～11：45

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本常任理事会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：三友仁志、江寄正邦、川崎賢一、新保史生、内山隆、岡田朋之、宍倉学、実積寿也

議 案：

1. 2021 年度見込決算について
2. 2022 年度事業計画及び収支予算について
3. 第 69 回理事会議案について
4. 来年度の事務局体制について

委員会等の開催

<研究・事業企画委員会>

第 1 回研究・事業企画委員会

日 時：2021 年 6 月 1 日（火）

場 所：メーリングリストによる書面会議

出席者：林秀弥、木村幹夫、庄司昌彦、浅利光昭、上原伸元、小川純子、三本松憲生、高崎晴夫、
福田雅樹、宮崎久美子、村上陽亮、森由美子、米谷南海

議 案：

1. 2021 年度春季情報通信学会大会プログラムについて

<研究企画委員会>

第 1 回研究企画委員会

日 時：2021 年 8 月 25 日（水）19：30～20：00

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：実積寿也、河島伸子、飯塚留美、伊藤綾香、村上陽亮

議 案：

1. 研究企画委員会での活動内容の確認

第 2 回研究企画委員会

日 時：2021 年 10 月 14 日（水）17：00～19：00

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：実積寿也、河島伸子、飯塚留美、浦田真由、伊藤綾香、村上陽亮

議 案：

1. 2021 年度秋季（第 45 回）学会大会個人研究発表について

第 3 回研究企画委員会

日 時：2021 年 12 月 13 日（月）16：30～18：00

場 所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：実積寿也、河島伸子、飯塚留美、浦田真由、伊藤綾香、村上陽亮、川崎賢一

議 案：

1. 2021 年度秋季（第 45 回）学会大会アーリーバード発表賞について
2. 2021 年度秋季（第 45 回）学会大会の振り返り

第 4 回研究企画委員会

日 時：2022 年 3 月 18 日（金）1

場 所：ビジネス用メッセージングアプリ「Slack」による会議

出席者：実積寿也、河島伸子、飯塚留美、浦田真由、伊藤綾香、村上陽亮

議案：

1. 2022年度春季（第46回）学会大会個人研究発表募集について

<事業企画委員会>

第1回事業企画委員会

日時：2021年9月24日（金）9：00～9：30

場所：公益財団法人 情報通信学会事務局

※本委員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、庄司昌彦、三本松憲生、浅利光昭、大里智之、田代光輝、宮崎久美子、
（会長）三友仁志

議案：

1. 2021年度秋季（第45回）国際コミュニケーション・フォーラムについて

<編集委員会>

第1回編集委員会

日時：2021年5月24日（木）

場所：メーリングリストによる書面会議

出席者：内山隆、河又貴洋、新保史生、生貝直人、北村智、桑原俊、高口鉄平、斉藤邦史、宋倉学、
篠原聡兵衛、高木聡一郎、高嶋裕一、高田義久、田尻信行、田中絵麻、土屋大洋、中嶋聖雄、
中村彰宏、成原慧、西岡洋子、福富忠和、山口真一、山田徳彦、湧口清隆

議案：

1. 2020年度情報通信学会論文賞について

第2回編集委員会

日時：2021年6月10日（木）15：30～16：30

場所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、北村智、桑原俊、斉藤邦史、篠原聡兵衛、高田義久、中嶋聖雄、中村彰宏、
成原慧、西岡洋子、山田徳彦、山口真一

議案：

1. 9月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について

報告事項：

1. 論文賞の理事会報告について
2. 6月号の進捗状況について

検討事項：

1. 次期編集委員会への引継ぎ事項について

第3回編集委員会

日時：2021年6月10日（木）15：30～16：30

場所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：内山隆、北村智、桑原俊、斉藤邦史、篠原聡兵衛、高田義久、中嶋聖雄、中村彰宏、成原慧、西岡洋子、山田徳彦、山口真一

議 案：

1. 9月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について

報告事項：

1. 論文賞の理事会報告について
2. 6月号の進捗状況について

検討事項：

1. 次期編集委員会への引継ぎ事項について

第4回編集委員会

日 時：2021年12月9日（木）15：00～16：30

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：宍倉学、木村幹夫、國井昭男、栗原佑介、黒田敏史、桑原俊、高口鉄平、篠原聡兵衛、高田義久、田尻信行、中嶋聖雄、成原慧、福田雅樹、山口真一、山田徳彦、湧口清隆

議 案：

1. 3月号投稿論文論説の担当委員及び査読者の選出について
2. 3月号寄稿論文について
3. 学会誌の電子ジャーナル化について

検討事項：

1. 学会誌投稿数について

報告事項：

1. 12月号編集計画

第5回編集委員会

日 時：2022年3月10日（木）10：30～11：30

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：宍倉学、林秀弥、木村幹夫、國井昭男、栗原佑介、高口鉄平、篠原聡兵衛、田尻信行、福田雅樹、山田徳彦、湧口清隆

議 案：

1. 6月号投稿論文・論説の担当委員及び査読者の選出について
2. 学会誌の電子ジャーナル化に関する学会誌掲載記事の見直しについて
3. 2021年度論文賞受賞候補論文の募集について

検討事項：

1. 学会誌投稿数について

報告事項：

1. 3月号編集計画
2. 6月号寄稿論文

<関西センター委員会>

第1回関西センター委員会

日 時：2021年9月17日（金）16：00～17：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：岡田朋之、北村順生、長谷川想、葛西弘生、谷村要、松原昌大、脇浜紀子

議 案：

1. 関西センター委員の交代について
2. 2021年度関西大会について
3. 2021年度第2回研究会について
4. その他

第2回関西センター委員会

日 時：2022年2月9日（水）14：30～16：00

場 所：公益財団法人情報通信学会 事務局

※本委員会は、Web 会議システム「Zoom Cloud Meetings」にて開催した。

出席者：岡田朋之、北村順生、長谷川想、葛西弘生、谷村要、松原昌大、脇浜紀子

議 案：

1. 2021年度第2回研究会について
2. 2021年度関西大会について
3. 2022年度関西センター事業計画について
4. その他